

伊集院保健所感染症情報

2024年第35週（令和6年8月26日～令和6年9月1日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症 管内警報発令：咽頭結膜熱、手足口病

定点医療機関【インフルエンザ5、小児科3、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第32週	第33週	第34週	第35週	先週からの増減	第34週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	0.00	0.20	2.60	3.00	↗	0.43	↗
COVID-19	-	-	-	9.20	6.40	7.20	6.80	↘	6.12	↘
咽頭結膜熱	3	1	-	4.67	4.67	2.67	4.00	↗	0.65	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	2.00	3.00	2.67	1.67	↘	1.75	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	0.67	0.33	1.67	1.00	↘	2.53	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.16	↘
手足口病	5	2	-	2.00	2.67	3.00	2.33	↘	4.12	↘
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.29	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	2.00	1.33	0.33	1.00	↗	1.65	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
RSウイルス感染症	-	-	-	4.33	2.33	2.33	1.67	↘	1.59	↘
COVID-19入院サーベイランス				1 (70代 女性 1) 1 (80代 男性 1) 1 (90代 男性 1) 1 (100代 女性 1)						
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

● TOPIC マイコプラズマ肺炎に気をつけましょう！！

マイコプラズマ肺炎が県内・全国で増傾向にあります。

マイコプラズマ肺炎の潜伏期は通常2～3週間で、初期症状は発熱、全身倦怠感、頭痛などです。咳は、初発症状出現後、3～5日から始まることが多く、解熱後も長く続きます（3～4週間）。

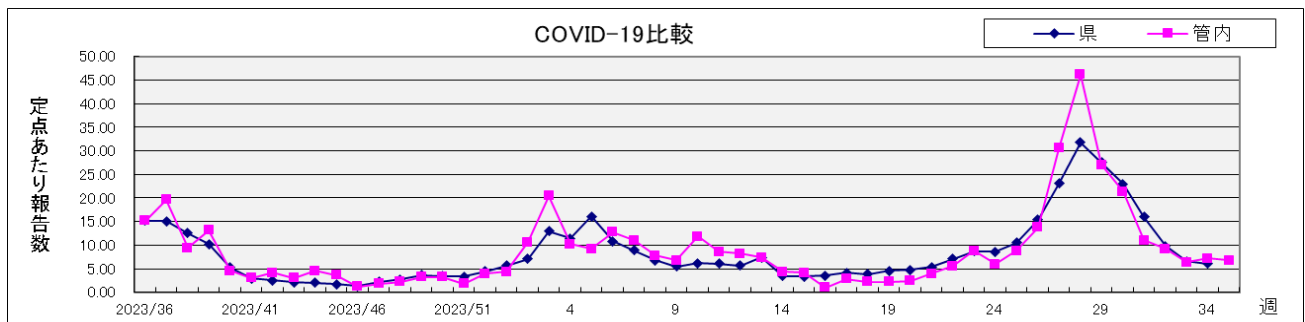
感染経路は、飛沫感染と接触感染です。

予防方法として、一般的な手洗いや咳エチケットを励行しましょう。



● 注意すべき感染症

● COVID-19（新型コロナウイルス感染症）



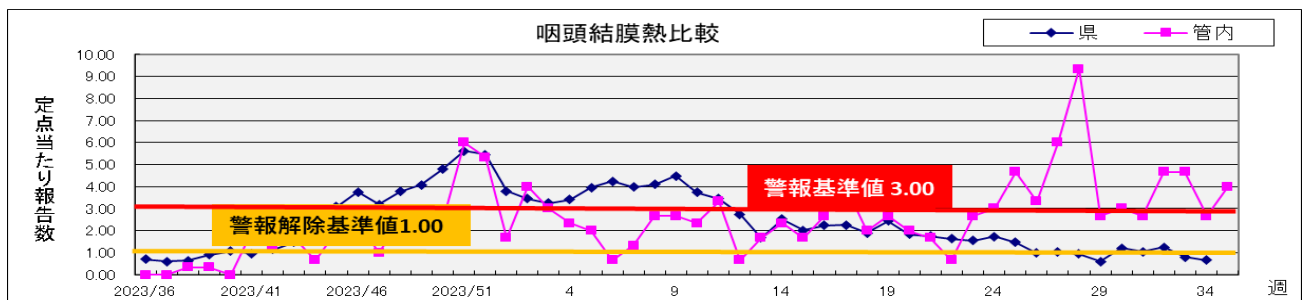
今週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、前週の36人（定点あたり7.20）から2人少ない34人（6.80）でした。

年代別では0～11ヶ月（1人）、1～9歳（6人）、10～19歳（4人）、30～39歳（4人）、40～49歳（1人）、50～59歳（3）、60～69歳（1人）、70～79歳（7人）、80歳以上（7人）と報告されています。

感染症予防のポイント

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う）
 - ②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
 - ③換気（部屋の換気を定期的に行う）
 - ④集団生活の場では、共用部分の消毒
- 基本的な感染対策ができていないか見直しをしてみましょう。

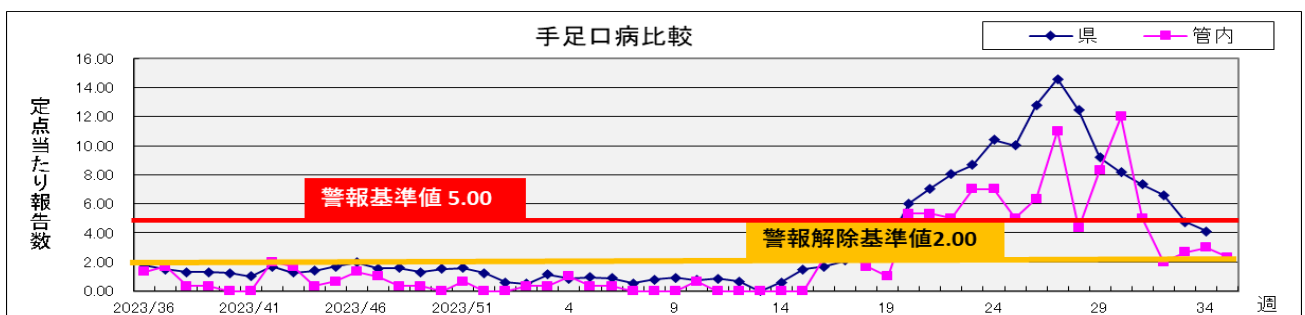
● 咽頭結膜熱（管内警報発令中！）



今週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、前週の8人（定点あたり2.67）から4人多い12人（4.00）でした。年齢別では、1歳・6歳（各3人）、3歳・4歳（各2人）、2歳・5歳（各1人）でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。感染予防対策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、また流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

● 手足口病（管内警報発令中！）



今週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、前週の9人（定点あたり3.00）から2人少ない7人（2.33）でした。年齢別では、1歳・3歳・5歳（各2人）、4歳（1人）の報告でした。

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。感染予防対策としては、タオルの共用はせず、手洗いをしっかりしましょう。